

# 『栃木市UVAシンボル化プロジェクト』の結成について

## まえがき（街づくりの夢）

栃木市がスポーツチームのホームタウンとなり、休日は家族そろってスタジアムに出かけチームを応援する。そうした中で日常的に地元愛と一体感醸成を図り、これを地域振興につなげて行く。そんな地域づくりが出来たら、栃木市はもっと住んでいて活気のある楽しい街になるのではないだろうか。

## 『プロジェクト』結成の目的

“街づくりの夢”実現は、即ち街にとってのチームのシンボル化である。現在日本トップリーグ連携機構に加盟するJFLに参戦する栃木ウーヴァFCには、リーグのレベル、サッカーの高揚感及び栃木市の持つ歴史等から、シンボル化を達成できる資質を充分備えていると考える。シンボル化への第1歩は観客動員を上げることである。本プロジェクトは、栃木ウーヴァFCの魅力等を伝える活動を通し、支援の輪を広げ、もって観客動員を上げることが目的とする。

## 『プロジェクト』の目標

- ・観客動員を上げること（栃木市陸満員（5,500人））。
- ・ホームタウンとしてスポーツチームを持続的に支援できる組織の形成に向けた機運を高めること。

## 目標を達成するための『プロジェクト』の取り組み（案）

- ・松本山雅FCと、そのホームタウンである松本市への視察  
⇒観客動員に対し一定の成果を出している松本市に実際に行き、観客動員の増加に向けた戦略のヒントを探すとともに、スタジアムの熱気等を生で感じ取り、ホームタウンが、街づくりに対して実効性があることを理解してもらい、もって支援の輪を広げることにつなげる。
- ・栃木ウーヴァFCフラッグの蔵の街大通り掲出  
⇒ホームタウンとしての雰囲気醸成し、市民の関心を高め、もって観客動員の増加につなげる。
- ・栃木ウーヴァFCの魅力伝える活動  
⇒Webでの発信、PVの作成、夢ファーレ申請 等を実施。

## 『プロジェクト』結成日予定

平成25年6月15日（土）

## 参考：『プロジェクト』のホームタウンの考え方

観客動員を上げるためには、強力なホームタウンの形成が不可欠。強力なホームタウンは、核となるべき都市（コアシティ）から同心円的に支援が広がった中で成り立つと考える。栃木市がコアシティとして相応しい街になるよう、行動していく。

【プロジェクトのメンバー及び組織について】

- ・当面は、きっちりとした組織化はしない方針。プロジェクトの趣旨に賛同した方が自由に参加し、アイデアを出し合い、目的達成を目指す。ただし、事務局的なものは必要なので、現時点でUVAに携わっている方を中心に10名程度で事務局を設置。対外的な対応は事務局で行う。

【プロジェクトの活動方法及び情報発信等について】

- ・近日中にはプロジェクトサイトを立ち上げる予定だが、それまでは、『栃木市でJリーグを開催しよう研究会 wiki』内で情報を管理及び発信。プロジェクトでの議論については掲示板で行い、企画されたイベント等はカレンダーに表示。  
栃木市でJリーグを開催しよう研究会⇒<http://wiki.livedoor.jp/tsc11/>  
↓↓↓



掲示板上で、アイデアを出し合い、議論し、実際に企画を立案し実行に移す。

企画されたイベントはこちらのカレンダーに表示